



生活を創造するまち [医療・福祉]

小清水町では、まち唯一の病院である小清水赤十字病院を中心に、地域医療体制の充実を図り、子育てが大切にされるまちづくりを強化しています。同時に、町民1人ひとりが生きがいと幸せを感じるよう、利用者の立場に立った地域福祉体制の確立を目指しています。

Current Situation - Medical Care and Welfare

Koshimizu Red Cross Hospital, the only hospital in the town, plays a leading role in strengthening the local medical care system and establishing a welfare system from the perspective of users.

小清水の医療 町内唯一の病院 地域医療連携室も開設 小清水赤十字病院

1941（昭和16）年開業、1994（平成6）年に移転・改築した小清水赤十字病院は99床。町内唯一の病院として、また、オホーツク地域の医療拠点として重要な役割を担っている。訪問看護ステーション、人工透析センターを併設。需要の高い人工透析センターでは、帰省や旅行時の臨時透析の受け入れも行うなど、患者の目線に立った医療サービスを提供している。

2014（平成26）年からは新たに地域医療連携室を開設。他地域の医療機関の予約窓口となり、救急搬送時も含めたすみやかな移送を実現している。通院困難な患者に向けた訪問診療の対象区域は斜里町、清里町もあわせた3町をカバー。週1度、一般家庭やグループホームを訪問す

る。「介護保険を使うにはどうしたら？」といった利用者からの素朴な疑問に答えながら、適切な福祉・介護サービスへと《橋渡し》をするのも、地域医療連携室の重要な役割だ。退院調整の際も退院後の生活を見据えた助言で、患者や家族をバックアップしている。

小清水町字小清水645・16
TEL 0152・62・2121



小清水の福祉

80床に増床し体制を充実

J A 北海道厚生連

小清水町特別養護老人ホーム「愛寿苑」

1979（昭和54）年開設の特別養護老人ホーム「愛寿苑」は、建物の老朽化等により移転・改築、2015（平成27）年11月に新施設がオー

ンした。満床状態が続いていた定員50床を80床に増床し、J A 北海道厚生連による管理運営のもと、サービス体制をさらに強化。移転場所も小清水赤十字病院に隣接し、介護と医療の連携もよりスムーズに改善されている。

小清水町字小清水651・46
TEL 0152・62・3301

援事業のひとつ。手渡しを原則とし、利用者の生活や健康状態に異変がないかを確認している。

小清水町社会福祉協議会
TEL 0152・62・3988

町民の負担を軽減

中学生以下医療費無料

北海道の子育て支援対策に乳幼児が病気になることと、3歳未満児は通院・入院費が無償、3歳以上就学前の乳幼児の通院・入院および小学生の入院は1割自己負担」とあるが、小清水町では2008（平成20）年から中学生以下の医療費が全て無料で町民への支援を拡大。子育て中の家計の負担を軽減している。

小清水町

保健福祉課医療保健係
TEL 0152・62・4473

小清水町社会福祉協議会 配食サービス事業

65歳以上の1人暮らし高齢者、高齢者のみの世帯、障がいを持つ方等を対象に、栄養バランスのとれた弁当を宅配するサービス事業。2014（平成26）年から週2回に充実し、約50世帯が登録している。配食は毎週火曜と金曜。日替り弁当200円、お惣菜セット350円から選ぶことができる。本事業は、小清水町が力を注ぐ高齢者見守り支

小清水町立保育所
0歳児保育

小清水町の子育て支援の基本理念は「1人じゃないよみんなを支える 楽しい子育て」。2001（平成13）年から町立保育所で0歳児保育を実践している。同じ0歳で

も1人ひとりの成長度合いが異なるところを保育士たちが細やかにケアし、同じ保育所に年長の子どもたちがいる環境も、成長への後押しとなっている。

小清水町字小清水651・30
TEL 0152・62・2702

